

第25回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会

レースレポート 松丸真幸、松丸浩巳

<日時> 2012年7月15日(日)

<場所> 秋田県にかほ市

<種目> ショートディスタンス(スイム1.5K/バイク40K/ラン10K)

<参加人数> 284名(男子250名、女子34名)

<成績>

松丸真幸 総合優勝 1時間58分27秒

(S10:26 B1:11:29 R36:32)

松丸浩巳 女子優勝 2時間20分34秒

(S12:43 B1:24:27 R43:24)

<キッズセミナー講師活動>

対象: 小学生~中学生男女19名参加

日時: 7月14日12時30分~14時

内容: スイム(泳法オープンウォータのコツなど)

バイク(トランジション、乗車、降車、コーナリング)

ラン(ジョグ、流しなど)

<使用機材(松丸真幸)>

バイク: SCOTT PLAZMA

バイクシューズ: SCOTT トライアスロンシューズ

ヘルメット: SCOTT

バイクメンテナンス、防水スプレー: ホルメンコール

ランシューズ: SCOTT レースロッカー

ウェア: SCOTT トライスーツ

アップウェア: C3fit

キャップ: SCOTT

ゴーグル: SPEEDO

サプリメント: ショッツエナジージェル、エレクトロライトショッツ、
VESPA、XYZ、XYZ9

<使用機材（松丸浩巳）>

バイク： SCOTT PLAZMA
バイクシューズ： SCOTT トライアスロンシューズ
ヘルメット： SCOTT
ペダル： TIME ICLOC CARBON
バイクメンテナンス、防水スプレー：ホルメンコール
ランシューズ： SCOTT レースロッカー
ウェア： SPEEDO トライスーツ
アップウェア： C3fit
サンバイザー： SCOTT
サングラス： SMITH RHYTHM
ゴーグル： SPEEDO
サプリメント： ショッツエナジージェル、エレクトロライトショッツ、
VESPA、XYZ、XYZ9

<レース結果（松丸真幸）>

優勝 松丸真幸（住友金属） 1時間58分27秒
(S10:26 B1:11:29 R36:32)
②位 小室淳史（東京大学） 2時間03分10秒
(S10:29 B1:15:11 R37:30)
③位 深浦祐哉（ハリアーズ） 2時間03分47秒
(S13:30 B1:15:41 R34:36)

悪天候のため、スイムが750mの1周回となって開催された。スイムでアドバンテージを作りたかったが、距離短縮のため、ほとんど横並びでスイムをお終えることとなった。その後、バイクトランジションまでの1キロのランニングでは、数人に先行されたが、バイクに入って、まもなく先頭に立ち、好調に飛ばした。大雨や、時々強風が吹く天候だったが、いいペースで走ることができた。

ランニングでは、後ろから、ランニングの得意な選手が来ることが分かっていたので、前半から追い込んで走った。折り返しで、後続との差を確認し、思ったより離れていたことが分かり、後半も油断することなく押して行った。

総合タイムは、目標にしていた2時間を切ることができ、現在の調子も確認することができた。ほぼイメージ通りのレースをすすめることができた。

<レース結果（松丸浩巳）>

優勝	松丸浩巳（Flowers/SCOTT）	2時間20分34秒
		（S12:43 B1:24:27 R43:24）
②位	大志田紀子（岩手県）	2時間28分21秒
		（S13:10 B1:28:02 R47:07）
③位	安曇樹香（筑波大学）	2時間29分07秒
		（S13:08 B1:32:17 R43:42）

スイムは、流れが強く、また横からのうねりのある波だったので、姿勢が崩れがちとなり、いい泳ぎができなかった。その割には、大きなタイムの遅れがなかったので、泳ぐライン取りが、うまくいったのかもしれない。バイクトランジションまでの1キロランでは、ペースよく走ることができていたが、運悪く踏切で電車通過待ちにあい、タイムロスと気持ちもちが1度途切れてしまったのが、残念だった。でも、これもローカルレースの醍醐味と思い、楽しく走った。

バイクは、前半の長いのぼり区間で、ペースが上がらず、体が追い込めなかったので、マイペースで走った。途中で後輪ブレーキがスカスカになり、全く効かなくなり焦った。一瞬りタイヤが頭をよぎったが、ブレーキをあまり使わないのぼり区間の間に、走りながら外れたブレーキレバーを戻して、その後は動かないように気を付けて走った。コーナーの多いコースだったので、大雨で落車しないようにコーナーは丁寧にゆっくり走った。

バイクで余裕を持ち走り、ランでは軽快に走れるようにと考えていた。走りだし体は少し重く、呼吸も苦しく感じたが、今出せるスピードで頑張るって走った。終わってみると、タイムが悪くて、すこしがっかりしたけれど、体調が悪いなりにレースをまとめることはできた。

ホルメンコールケミカルについてのコメント

「大会は大雨の荒れた天候でしたが、バイクはトラブルなく走ることができました。雨天の今回はとくにシューズへのハイテクブルーフが役立ちました。テキスタイルウォッシュは泥・油汚れが落ちやすく、とても重宝しています。」